

# 市民活動・ボランティア ニュース



2009年 4月号

平成21年3月25日発行  
通巻124号

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

### ◆発行◆

514-0009  
津市羽所町700番地  
アスト津3階  
みえ市民活動ボランティアセンター  
Tel.059-222-5995  
Fax.059-222-5971  
E-mail center@mienpo.net  
男女共同参画・NPO室の  
ホームページ  
<http://www.pref.mie.jp/NPO/>  
三重県のホームページ  
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動・ボランティアニュースは  
こちらにあります!

### 【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティア  
センター／津市市民活動センター／  
分部食堂／(有)デザインオフィス萩  
野 ●桑名市●桑名市市民活動支  
援センター ●いなべ市●いなべ  
市市民活動センター ●四日市市  
●四日市市市民活動センター／寺  
子屋プロジェクト／みえチャレンジ  
プラザ ●亀山市●亀山市市民協  
働センター ●鈴鹿市●市民ネット  
ワークすずかのぶどう ●松阪市●  
三重中京大学／松阪市市民活動セ  
ンター ●伊勢市●特定非営利活  
動法人伊勢志摩NPOネットワークの  
会／いせ市民活動センター ●鳥  
羽市●鳥羽NPOネットワークセン  
ター・結 ●名張市●名張市立図書  
館／名張青年会議所／皇学館大学  
名張キャンパス／名張市総合福祉  
センター／エコリゾート赤目の森／名  
張市市民活動支援センター／くらし  
の情報センター同夢 ●伊賀市●  
ウリアム・テルズアップル まちづ  
くりセンター／伊賀市中央公民館／  
伊賀市立図書館／上野青年会議所  
／伊賀市市民活動支援センター  
●明和町●めいわ市民活動サポ  
ートセンター ●南伊勢町●南伊勢町  
町民文化会館 ●紀宝町●紀宝町  
ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市  
町村社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店  
／三重銀行各店／東海労働金庫各  
店／第三銀行各店／メディカル光  
各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール  
／三重県地域機関(各県民セン  
ター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、  
松阪、南勢志摩、伊賀、尾鷲・熊野)／  
三重県栄町庁舎(情報公開窓口)／  
三重県総合医療センター／三重県立  
一志病院／三重県立志摩病院／三  
重県立こころの医療センター／斎宮  
歴史博物館／三重県立博物館／三  
重県立図書館／三重県生涯学習セ  
ンター／三重県男女共同参画セン  
ター『フレンドみえ』／三重県人権  
センター／三重県身体障害者総合福  
祉センター／三重県環境学習情報セ  
ンター／各市町役場

## NPO(ボランティア団体・市民活動団体等)からの協働事業等提案

NPOからの提案を募集します!~皆さんからの応募をお待ちしています~  
県では、NPOが自ら企画して県に提案し、対等な立場で話し合い、双方が持つ特色を生かして、協働事業の構築や課題の共有を行う「NPO(ボランティア団体・市民活動団体等)からの協働事業等提案を募集します。  
詳細は、下記へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

募 集 区 分	●事業の構築・推進を目指した事業提案	●課題の共有を目指した研究提案
	NPOと県が協働で取り組む事業計画についての提案を募集します。	NPOと県が課題を共有することを目指して、3回以内で話し合うテーマの提案を募集します。

募集するテーマは、ともに、自由です。  
締め切りは、5月22日(金)17:00(必着)、  
公開プレゼンテーションを、6月26日(金)に行う予定です。

## 平成21年度募集説明会&平成20年度実践報告会 ~協働セミナー同時開催~

提案を募集するにあたり、説明会を行います。提案を予定している団体の方だけでなく、協働事業について興味をお持ちの方もぜひお気軽に参加してください。  
今回は、平成20年度に採択された協働事業等提案の実践報告と、千葉県で「県とNPOとの協働事業提案」選考委員も務められるIIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表者 川北秀人さんをお招きしての『協働セミナー』を同時開催します。協働セミナーでは、川北さんから協働提案制度や協働のしくみをどのように育てていくかをお話し頂き、また協働についての質問にお答えいただけます。この機会に、多くの自治体で取り組まれている協働について、また、これまで協働してきた中で生まれた疑問について、一緒に学んでみませんか。次につながる一歩として頂きたいと思っていますので、多数の参加をお待ちしています。(事前申込みをお願いします。)  
●日時/4月24日(金) 14:00から17:00まで  
場所/アスト津3階 みえ県民交流センター

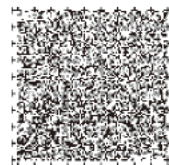


### ●申込・問い合わせ先

514-0009 津市羽所町700 アスト津3階  
三重県生活・文化部男女共同参画・NPO室NPOグループ  
Tel. 059-222-5981 Fax. 059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp  
ホームページ <http://www.pref.mie.jp/NPO/>

### SPコード

右にある図形は「SPコード」と呼ばれる二次元コードです。視覚に障害を持つ方が「スピーチオ」と呼ばれる専用の読取機を使用することで、ここに記録されている情報を音声で聞くことができます。



情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。  
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

新年度になると様々な講座や研修会が始まりますね。私も毎年いくつかの講座を事務局として担当しますが、その内容を考える時には「この講座は〇〇さんが受けてもらえると嬉しいなあ」などと、具体的に対象の人を思い描くことがよくあります。(かなりおこがましいことではありますが…) そんな講座のひとつに4月23日(木)から6回講座で始まる「ボランティアコーディネーター集合研修」があります。(詳細は講座案内で)

「ボランティア」という言葉が多様性を含むがゆえに、職務としてボランティアに携わる私たちは迷い、戸惑う場面が多々あります。この迷いや戸惑いが気づきが変わり、またその中から新たな迷いが出てきて、そしてまた…と、らせん状に連なっていく。そんな過程をサポートできる講座にしたいと思い、着々と準備を進めています。

そして、この講座を修了した後は、堂々と、まではいかないかもしれないけれど、自己紹介や名刺に「ボランティアコーディネーター」の文字が並んでくれることを心から願っています。

さてさて、どうやら、私の中で思い描いている「あの人」が受講してくれるようです♪

## みなさんへのお知らせ

### 特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

#### ●認証申請団体

(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地

【1】(1)日中友好さくらの会(2)石井一好(3)三重郡朝日町大字小向200番地  
【2】(1)津の水源地と食の安全フォーラム(2)濱村照道(3)津市美杉町下之川1916番地

【3】(1)三重高虎ベースボールクラブ(2)加藤保行(3)津市白塚町1325番地15

【4】(1)新エネルギーと福祉住設改善普及の会(2)飯田哲生(3)四日市市新正四丁目6番8号  
(平成21年2月10日～平成21年3月9日申請分)

#### ●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

メッタ(慈しみ)の会(平成21年2月17日)

ワクワク工房(平成21年2月25日)

悠遊くうかん木海香の里(平成21年2月25日)

(平成21年2月10日～平成21年3月9日届出分)

※関係書類は、三重県生活・文化部男女共同参画・NPO室に備え置いております。

### みえ県民交流センターの指定管理者制度がスタートします Part.2

指定管理者による管理運営のスタートにあたり、昨年12月から協議を進めてきましたが、この度、協議が整い、施設や備品等の各種サービスの利用方法や料金が決定しました。これまで無料で提供してきたサービスが有料となるものもありますが、指定管理者からは、市民活動の支援と国際化の推進を目指した新たなサービスや新たな事業が提案されています。民間の創造的で柔軟な発想や豊富な知識による利用者サービスの向上にご期待ください。

#### 主な変更内容

#### ●交流スペースA・ミーティングルームA・Bの利用

利用団体の別	営利団体		
	9:00-12:00	13:00-17:00	18:00-22:00
交流スペースA	17,500円	20,000円	20,000円
ミーティングルームA	3,500円	4,000円	4,000円
ミーティングルームB	3,500円	4,000円	4,000円
予約可能日	3ヶ月前		

利用団体の別	非営利II団体	
	1時間あたり	1時間あたり
交流スペースA	1,500円	無料
ミーティングルームA	300円	無料
ミーティングルームB	300円	無料
予約可能日	3ヶ月前	6ヶ月前

※非営利II団体は、非営利III団体を除く行政・非営利法人。

※非営利III団体は、ボランティア・市民活動団体・NPO法人。

※イベント情報コーナーの利用方法は変更ありません。

#### ●附属設備(変更となる主なもの)

機材・備品名	利用単位	料金
紙折り機、丁合機(ソーター)	各1回	各400円
VHSダビング機		

製本機	1冊	50円
デスクトップパソコン	1時間	400円
有孔パネル、布ボード	5枚以上	400円
インクジェットプリンター	廃止	
プロジェクター、スクリーン、マイク、テレビ、スライド映写機、ビデオ・DVDデッキ、OHP、	各1回	各400円
CDラジカセ	1回	200円
鍵付きロッカー(5月から)	年間	2000円
メールボックス(5月から)	年間	1000円

#### ●附属設備(新サービス)

機材・備品名	大型プリンター
利用単位	1回
基本料金	400円
消耗品代	A1サイズ1枚当り400円、B2サイズ1枚当り300円、長尺紙Aサイズ1m当り500円、Bサイズ1m当り400円

問い合わせ先:みえ市民活動ボランティアセンター  
TEL059-222-5995

## イベントスケジュール

### ■第3回■手作り甲冑教室説明会



～あなたも手作り甲冑を作って

津まつり時代行列に参加しよう!～

- とき/3月29日(日) 13:30～15:00
- ところ/津センターパレス地下1階会議展示室
- 内容/完成した甲冑を着て、津まつり時代行列及びその他の催しに積極的に参加することができる、高校生以上の方を募集します。4～9月までの月2回日曜日に集まって作業します。最後まで根気よく作業を続けましょう。
- 申込方法/氏名、年齢、住所、連絡先、E-mailを明記し、Fax、郵送、E-mailで下記まで。
- 問い合わせ先/(特活)三重ドリームクラブ  
Tel.059-271-9978 Fax.059-255-2257  
E-mail qzo1341004@yahoo.co.jp



### 第1回三重県自閉症協会作品展

- とき/4月2日(木)～5日(日) 10:00～16:00(初日は13:00から、最終日は13:00まで)
- ところ/津リージョンプラザ3階展示場
- 内容/平成19年12月18日に国連総会において、平成20年度以降、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが決議されました。そこで三重県自閉症協会でも、「自閉症でOK」という「心のバリアフリー」を目指して、作品展を開催します。



## 平成21年「県民の日」記念事業

●とき／4月18日(土) 12:20開場

13:00～15:30

●ところ／三重県総合文化センター文化会館中ホール

●内容／「美(うま)し国おこし・三重」のスタートを記念したオープニング宣言、県民功労者表彰式につづき、キャスター 生島ヒロシさんの環境講演を実施。また、今回は、文化力の視点を生かし、地域で活動する環境森林関係団体等が県民の日にあわせて活動を行う「県民参画イベント」を行うほか、例年同様、公共施設の無料開放も行います。施設一覧はホームページでご確認ください。

●申込・問い合わせ先／514-8570 津市広明町13番地 三重県環境森林部環境森林総務室「県民の日」記念事業係 Tel.059-224-2314

E-mail kanky@pref.mie.jp

ホームページ(三重の環境と森林ホームページ)

http://www.eco.pref.mie.jp/



## 市民協働センター みらい 2周年記念

### 「地域課題解決へ向けてのきっかけづくり」

●とき／4月19日(日) 13:30～16:20

●ところ／亀山市市民協働センター みらい 1階多目的ホール ●参加費／無料

●内容／NPOの最前線で世界的に活躍され、テレビ等に出演されている中央大学教授の目加田 説子さんを講師にお招きし講演と交流会を行います。

●主催・問い合わせ先／亀山市市民部市民参画協働室

Tel.0595-84-5008 Fax.0595-82-1434

亀山市市民協働センター(みらい)

Tel.0595-84-5800 Fax.0595-84-5801

## 平成21年度ボランティアコーディネーター養成研修【集合研修】

●とき／(1)4月23日「概論」(2)5月28日「相談」(3)6月25日「企画・プログラム」(4)7月30日「情報」(5)9月17日「評価」(6)10月29日「スーパービジョン」(すべて木曜) 10:00～15:30

●ところ／三重県社会福祉会館3階(津市桜橋)

●内容／講師は皇學館大学社会福祉学部教授、守本友美さん。

●問い合わせ先／三重県ボランティアセンター

Tel.059-229-6634 Fax.059-229-6635

E-mail mvc@miewel.or.jp

●主催／三重県社会福祉協議会



## フレンテみえファンファーレ2009

### 講演会「60からの生きがい人生」

●とき／5月6日(祝・水) 13:00開場

13:30～15:30

●ところ／三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」

●参加費／無料 ●募集人数／先着300人

●内容／つねに鋭い眼差しで社会の動きを見つめ、さわやか福祉財団で「新しいふれあい社会の創造」を目指す堀田力さんに高齢社会の問題を交えながら、第二の人生を生きがいを持って輝いて生きていくためのお話をお聞きした後、NPO法人市民社会研究所代表理事として活躍する四日市大学教授、松井真理子さんとの対談も行います。

●応募締切／託児…4月22日(水) 料金は一人1000円(おやつ代含む・未就学児)

●申込方法／電話、Fax、E-mail、ホームページ、フレンテみえ窓口

●問い合わせ先／514-0061 津市一身田上津部田

1234 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」

Tel.059-233-1130 Fax.059-233-1135

E-mail frente@center-mie.or.jp ホームページ

http://www3.center-mie.or.jp/center/frente/



## メッタ(慈しみ)の会創立10周年記念

### 日本とスリランカの仏教文化交流チャリティー公演会

●とき／5月11日(月) 13:00～

●ところ／高田青少年会館ホール ●参加費／1000円

●内容／第一部は「メッタの会」創立10周年記念合唱団による「親鸞聖人ご和讃を歌う」合唱。第二部はスリランカの仏教美術研究家、チャンドラ・ウィックラマガマゲ博士による仏教美術講演「スリランカの仏像について」。

●主催・問い合わせ先／メッタ(慈しみ)の会(事務局:高谷) Tel.0595-22-0893



## 【四日市まんなか子ども劇場】

### 月に一度の絵本のひろばとヘルシーランチ

●とき／5月12日、6月2日、7月7日(すべて火曜) 絵本のひろば11:00～、ランチ12:00～

●ところ／四日市まんなか子ども劇場

●参加費／ランチ900円、利用料300円(会員無料)

●内容／読み聞かせグループ「すのうほわいと」による絵本のひろばと旬の野菜中心料理「野恵都」のランチを子連れでどうぞ。

## きらりカフェ

●とき／5月19日(火) 10:30～13:30

●ところ／中央緑地公園現地集合 ●参加費／300円

●内容／お弁当をもって公園であそびましょう!

●問い合わせ先／四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.0593-51-6670



## ■平成21年度消費者月間記念講演会■ 「くらしとおかねのお役立ちヒント ～日米の生活体験を通じて～」

●とき／5月17日(日) 12:00開場 13:00～14:40

●ところ／アストホール(アスト津4階) ●参加費／無料

●内容／講師はタレントのダニエル・カールさん。

●募集人数／先着250人 ●応募締切／5月15日(金)

●申込方法／氏名、住所、電話番号を郵便、Fax、E-mailで。

●申込・問い合わせ先／514-0004 津市栄町1-954

三重県栄町庁舎3階 三重県金融広報委員会

Tel.059-246-9002 Fax.059-224-3372

E-mail shiruporuto-mie@za.ztv.ne.jp

## インターネット無料電話で国際交流を広める会

●とき／5月17日(日) 10:00～12:00

●ところ／アスト津3階 ●参加費／無料

●内容／初心者対象。Skype等無料ソフトのインストール。交信の実演。質疑、会員と懇談等。外国語ができなくても参加できます。会のモットーは「論より証拠、駄目でもともとやってみよ」です。

●募集人数／約10人(パソコン持参可)

●申込み問い合わせ先／Tel.059-235-5632

ホームページ zigzag1919@zc.ztv.ne.jp



# ネットワークのよびかけ

## 中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りませんか？～

中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合っ、意見交換する場です。隔月で協働をテーマに勉強会も開催。いずれも無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

【協働勉強会】●とき／4月14日(火)13:30～16:30

●問い合わせ先／W.T.Aまちづくりセンター

Tel.0595-24-7612

## みんなで創ろう『みえの舞台』会議の委員募集

～あなたの提案で『みえの舞台』を一緒につくりませんか？～  
県の総合計画「県民しあわせプラン」の第二次戦略計画を、県民の皆さんと一緒に進めていくための広聴の仕組みとして、「みんなで創ろう『みえの舞台』会議」を設置します。この会議は、テーマとして取り上げた重点的な取組について、翌年度の方向性を検討する段階から県民の皆さんのご提案を取り入れていけるよう、県政運営のサイクルに合わせて開催します。

●みんなで考えるテーマ／(1)みんなでつなごう「子どもたちにホンモノの文化体験を」(2)みんなで考えよう「あたらしい農山漁村づくり」(3)みんなで取り組もう「三重の森林づくり」(詳しくは県のホームページでご確認ください。)

●委員の役割／年7回の会議に参加。(任期1年)

●応募資格／平成21年4月1日現在、満15歳以上の方。県内で地域活動に携わる方。テーマに沿って他の委員と前向きに議論していただける方。

●募集人数／1テーマあたり15名程度。

●応募締切／4月22日(水)

●申込・問い合わせ先／514-8570 津市広明町13 三重県政策部企画室 企画・計画グループ

Tel.059-224-2025 Fax.059-224-2069

E-mail kikakk@pref.mie.jp

ホームページ <http://www.pref.mie.jp/TOPICS/2009030241.htm>

## 2009車イス体験ふれあいウォークラリー大会ボランティアスタッフ募集

障がいの有無に関係なく「誰でも参加できるウォークラリー」をモットーに、参加者が車イスに乗ってコース上にあるチェックポイントで福祉に関係したゲームやクイズを楽しみながら進み、交代しながら車イスに乗っていただきます。企画運営はボランティア中心。アイデアを出し合い協力して作りあげていくイベントなので楽しみながら参加できます！一般参加者もボランティアスタッフも随時募集中です。

●実行委員会／毎週土曜日18:30～20:30 津センターパレス3階にて開催中！

●大会開催日／6月7日(日)9:30～15:00(終了予定)

雨天の場合、6月14日(日)に延期。 ●参加費／無料

●大会会場／津市河芸ほほえみセンターカームちゃん広場

●問い合わせ先／津市社会福祉協議会 Tel.059-213-7111 E-mail chiiki@tsu-shakyo.or.jp

# 助成金 ニュース

## 地産地消・食育地域連携プロジェクト助成金

●受付期間／4月8日(月)～5月15日(金)

●助成の対象となる活動／地域における地産地消や食育を推進する取組。地産地消や食育を推進する個人、法人、団体が3者以上連携し、実施すること。

●助成の額／総額280万円、一取組当たり事業費の10/10以内、助成上限額40万円、助成件数は7件程度。

●応募方法／助成金交付申請書および必要書類はホームページよりダウンロードして使用。詳細については、事業実施要領を参照。

●問い合わせ先／NPO法人地産地消ネットワークみえ(事務局:財団法人 三重県農林水産支援センター内 需要創造グループ) 515-2316 松阪市嬉野川北町530 Tel.0598-48-1227 Fax.0598-42-8221 E-mail tisantisho-mie@aff-shien-mie.or.jp

ホームページ <https://www.chisan-chisho.net/mie/index.htm>

## 2009年全労済地域貢献助成事業

●受付締切／4月6日(月)消印有効

●助成の対象となる団体／日本国内を主たる活動の場とするNPO法人、任意団体等(NGO、ボランティア団体等)

●助成の対象となる活動／【1】環境分野)地域の自然環境を守る活動。循環型地域社会をつくるための活動。

地域の自然や環境の大切さを学ぶための活動。

【2】子ども分野)地域の中で、学校外の多様な育ちを応援する次のような活動。 ※ 子ども自身が主体的に参画して取り組む活動を重視。

・子どもたちの豊かな遊びの場をつくる活動

・子どもたちが交流し学びあえる場をつくる活動

●対象事業の期間／平成21年9月1日～平成22年8月31日

●助成の額／助成総額は環境分野1000万円、子ども分野1000万円の総額2000万円(上限)を予定。1団体に対する上限は30万円。

●応募方法／応募要項はホームページよりダウンロードするか、以下までE-mailまたはFaxで請求。

●問い合わせ先／全労済 経営企画部内 地域貢献助成事業事務局(担当:津本) 151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10

Tel.03-3299-0161 Fax.03-5371-2685(平日10:00～17:00 土日祝除く) E-mail 90\_eco@zenrosai.coop

ホームページ <http://www.zenrosai.coop/eco>

## 「川に学ぶ」活動助成

●受付締切／4月20日(月)必着

●助成の対象となる団体／市民団体、学校等の非営利団体。

●助成の対象となる活動／(1)河川・海岸等の水辺や、水辺に関わる地域をフィールドとして行う自然体験や環境教育等の活動。

(2)河川・海岸等に関係するセミナーやスクールの実施、情報の提供、水辺を活かしたまちづくり(以下、「かわまちづくり」という。)に資する検討・啓発等の諸活動など等の活動。

●対象事業の期間／平成21年4月21日(火)～平成22年1月31日(日)

●助成の額／1活動あたり上限10万円。30件程度。

●応募方法／応募様式はホームページからダウンロード。ホームページに掲載するエクセルデータでの申請に限り、E-mailにて申請可能。その他の場合は郵送。

●問い合わせ先／財団法人リバーフロント整備センター研究第一部

「川に学ぶ」活動助成事業 事務局

102-0082 東京都千代田区一番町8番地 一番町FSビル

Tel.03-3265-7121 Fax.03-3265-7456

E-mail manabu-h21@rfc.or.jp

ホームページ <http://www.rfc.or.jp/>

## 平成21年度子育て・子育て支援団体活動研修事業

●受付締切／4月24日(金)消印有効

●助成の対象となる団体／概ね1年以上継続して子育て・子育て支援を行っている団体。

●助成の対象となる研修会／地域において子育て・子育て支援活動を担っているまたは、将来担い手になるうとする者、子育て・子育てに関心のある者、それに関わる行政関係者、専門家、企業関係者などを対象とした研修会。研修会内容は講座・グループ討議、実技講習、事例発表、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ・見学など。参加人数は概ね15人以上。

●対象事業の期間／平成21年6月～平成22年3月に実施する研修会。

●助成の額／一研修あたり上限50万円。

●応募方法／応募要項などはホームページからダウンロード。

●問い合わせ先／財団法人こども未来財団研修事業部

## 平成20年度損保ジャパン記念財団 社会福祉助成 —社会福祉関係のNPO法人設立を考えている方へ—

- 受付期間/4月1日(火)~30日(水)消印有効
- 助成の対象となる団体/社会福祉の分野でNPO法人の設立を計画している団体但し、平成20年度中(所轄庁受付日が、平成20年4月1日~平成21年3月31日)に設立認証申請を行うことが原則。
- 助成の対象となる活動/障害者、高齢者を対象とした、主として在宅福祉に関する活動。
- 助成の額/1件30万円
- 応募方法/応募要項・申込書は、請求者の郵便番号・住所・団体名・担当者名・電話番号・Fax番号を明記し、下記までFaxまたはハガキで請求するか、ホームページからダウンロード。申請は郵送にて。
- 問い合わせ先/損保ジャパン記念財団 社会福祉助成係  
160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン本社ビル37階 Tel.03-3349-9570 Fax.03-5322-5257  
ホームページ <http://www.sompo-japan.co.jp/foundation>

## (財)庭野平和財団 活動助成(前期分)

- 受付締切/4月30日(木)必着
- 助成の対象となる団体・個人/個人・団体のいずれでも申請できます。(一個人、一団体に付き一件の申請に限ります)申請者の国籍、団体の場合の法人格の有無は問いませんが、継続性のあることを原則とします。
- 助成の対象となる活動/【1.宗教的精神に基づく社会・平和活動】  
宗教的精神に基づく社会活動とは、神仏への畏敬の念から発して、広く社会及び個人の生活における物心両面の福祉に寄与することを志向する活動を意味します。具体的には、特定の宗教の枠を越えて展開されている平和のための教育・開発協力・環境保護・人権擁護・高齢化問題への対策等の活動を指します。
- 【2.地域のエンパワメントを創生する活動】  
地域のエンパワメントを創生するために、様々な団体・個人が共に深い精神性・祈りをもって開かれる、集いやワークショップに助成を行います。理論と活動の相乗効果による新しい価値観の創造を期待します。
- 助成の額/助成総額1000万円程度。1件あたり上限100万円。
- 対象事業の期間/前期は平成21年8月1日から1年間。 ※後期は平成21年11月1日から行われる活動とし、受付締切は8月13日(木)。
- 応募方法/申請書類は下記のホームページからダウンロード。なんらかの事情で、ダウンロードできない場合は、財団へ電話、Faxまたは、E-mailにて連絡。申請は郵送にて。
- 問い合わせ先/(財)庭野平和財団助成係 166-0022 東京都新宿区新宿1-16-9 シャンピラカテリーナ5階 Tel.03-3226-4371  
Fax.03-3226-1835 E-mail [npfgrant@npf.or.jp](mailto:npfgrant@npf.or.jp)  
ホームページ <http://www.npf.or.jp/>

## 富士フィルム・グリーンファンド助成金

- 受付締切/5月18日(月)
- 助成の対象となる活動/【活動助成】身近な自然の保全や、自然とのふれあいを積極的に行っていること。
- 【研究助成】身近な自然環境の保全・活用の促進に関する具体的な研究。ふれあいの場としての緑地の質的向上を目指した実証研究など。
- 対象事業の期間/贈呈日より1年。内容によって2年利用することも可能。
- 助成の額/助成総額は850万円、助成件数は4件程度。
- 応募方法/応募要項はハガキまたはFaxにて下記まで請求するか、下記のホームページからダウンロード。申請書類は簡易書留等で送付のこと。
- 問い合わせ先/公益信託富士フィルム・グリーンファンド事務局

## 平成21年度ニッセイ財団 高齢社会助成

- 【I.実践的研究助成】
- 受付締切/6月16日(火)
- 助成の対象となる研究/1.認知症高齢者に関する予防からケアまでを探索する実践的研究。
- 2.高齢社会における地域福祉、まちづくりを探索する実践的研究。
- 3.高齢者の自立・自己実現・社会参加を探索する実践的研究。
- 代表研究者の応募資格/当該研究組織を代表し、その中心となって研究の取りまとめを行い、研究助成金の管理及び報告事務等を含めて研究計画の推進に責任を持ちうる人。国籍・所属や資格は原則として問いません。ただし、日本の在住者であり日本語で申請・報告ができることとします。
- 助成の額/1件当たり200~250万円程度、新規助成5~8件程度。
- 対象事業の期間/平成21年10月から最長2年
- 【II.先駆的事業助成】
- 受付締切/6月1日(月)
- 助成の対象となる事業/1.認知症高齢者に関する予防からケアまでの総合的な先駆的事業。
- 2.高齢社会における地域福祉、まちづくりを目指す地域を基盤とした先駆的事業。
- 3.高齢者の自立・自己実現・社会参加を推進する地域社会システムづくりの先駆的事業。
- 助成の対象となる団体/既に優れた活動実績をもつ、社会福祉法人、財団法人、社団法人、NPO法人を原則とし、その代表者および事業責任者が信頼するに足るものであること。助成を受ける団体・法人のみが、その事業を展開するのではなく、住民や行政、施設、社会福祉協議会、学識経験者等がチームをつくり、広く地域住民を対象とした活動を展開してもらいます。
- 助成の額/1団体当たり700万円以内、新規助成2~3団体程度。
- 対象事業の期間/平成21年10月から最長2年半  
… … (以下、両助成共通)
- 応募方法/所属機関の名称・役職・氏名・郵便番号・住所を記入し、送料160円切手を同封して請求。(急ぎの場合は追加して速達料270円切手も同封)またはホームページよりダウンロード。
- 問い合わせ先/ニッセイ財団高齢社会助成事務局  
541-0042 大阪市中央区今橋3丁目1番7号 日生今橋ビル4階  
Tel.06-6204-4013  
ホームページ <http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858  
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

この4月号をもって、三重県生活・文化部男女共同参画・NPO室NPOグループによる『市民活動ボランティアニュース』の編集・発行は終了となります。県民の方、市民活動団体の皆様、様々な方のご意見やご協力を得て、メディアとして成長してまいりました。長い間有り難うございました。

5月号からは、みえ県民交流センター指定管理者〔みえNPOセンター・ワーカーズコープ〕に編集・発行が移行します。これまでと変わらないご愛顧をお願いいたします。

### みえぎんNPOローン 好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資！

対象：三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで  
URL: <http://www.miebank.co.jp>



### 株式会社等の各種法人設立から許認可手続まで

## NPO・社団法人設立手続

事業報告、各種変更届等の作成もお手伝いします。

フリーダイヤル 法 務 よ い よ  
**0120-406-414**

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所LLC内)  
三重県津市本町14-18 URL [www.e-houmu.info](http://www.e-houmu.info)

## 今月特集 寄付を通じて幸せが循環するしくみ 日本ファンドレイジング協会設立!

特別寄稿

特定非営利活動法人  
みえきた市民活動センター  
理事長 服部則仁さん

### 日本ファンドレイジング協会設立

2009年2月18日、東京都・渋谷区の国連大学ウ・タント国際会議場にて、日本ファンドレイジング協会 (<http://blog.canpan.info/jfa/>) が設立されました。

この団体は、『民間非営利団体に対する寄付という行為が高く評価され、民間非営利団体において資金開拓を担うファンドレイジング(資金調達)担当者が、誇りと自信をもって仕事を遂行し、また、寄付者が幸せと満足を実感できる新しい寄付社会を創造する』ことを目的としています。

設立発起人は全国で580名を数え、当日は360名が参加しました。代表理事は堀田力さんです。協会を設立するにあたり、シーズ・市民活動を支える会をつくる会が重要な役割を果たしました。

### 「自分たちと地域の未来を語り合う」

#### フォーラムで見えてきたNPOの“これから”

NPO法ができて10年余が過ぎ、これからの10年をNPOはどう進むべきかについて、この1年ほど全国各地でさまざまな議論がされてきました。

桑名でも、この1月に、シーズの常務理事の松原明さんを囲んで「自分たちと地域の未来を語り合う」フォーラムを、みえNPOセンターとみえきた市民活動センターとの主催で開催し、そもそもNPOは何をめざしたのか、これまでの10年でNPOが充分にはできなかったこと、これから改めてNPOが取り組むべきことを議論しました。

その中で松原さんから、「市民活動本来の力は、人の参加を生み出して社会にインパクトを与えること。その市民の社会運動をプロデュースする力が、NPO本来の力」、「NPOは、個人が何かを社会でやるときに、協力や参加のノウハウ、参加のプログラムをつくる組織だったはず」。また、「非営利とは、みんながこころよく無償でがんばるときのお互いの約束事」というお話がありました(フォーラムの概要はみえきた市民活動センターのホームページをご覧ください)。

NPOのこれからを考えた時、必要な取り組みのひとつが「寄付文化革命-日本ファンドレイジング協会の設立」であり、これにより、「寄付を通じて幸せが循環するしくみ」づくりがスタートしたと思います。

問い合わせ先：特定非営利活動法人みえきた市民活動センター <http://www.mie-kita.gr.jp/>  
〒511-0088 三重県桑名市南魚町86 とうじ時計店内 TEL 0594-27-2700 FAX 0594-27-2733 Email [miekita@mie-kita.gr.jp](mailto:miekita@mie-kita.gr.jp)

## 中間 市民活動団体データベース 支援 平成20年度のご報告

平成19年度から、三重県男女共同参画・NPO室NPOグループと三重県社会福祉協議会、市町、市民活動(支援)センター等(以下、連携団体と省略)が連携して、県内市民活動団体、ボランティア団体のデータベースの整備を行ってきました。

平成20年度は、前年度の調査をふりかえり、今後どのように進めていくかについて検討を行い、新たに調査を実施した連携団体のデータを繰り入れるなど、追加登録等の更新を行いました。

その結果、ご登録いただいた市民活動団体は、1921団体(21年3月現在)にのぼり、より多くの団体情報を県民の方にお届けできる仕組みが整いつつあります。

平成21年度は、みえ県民交流センター指定管理者(みえNPOセンター・ワーカーズコープ)に実施を担っていただき、連携団体と共に市民活動団体の活動内容等の調査を実施します。

今後も継続して行っていきますので、市民活動団体、ボランティア団体の皆様、ご協力よろしくお願ひいたします。

団体情報は、みえ市民活動ボランティアセンターのホームページ

(<http://www.mienpo.net/center/>)の「Mなび」にてご覧いただけます。

三重県内市民活動団体検索システム  
**Mなび**  
ME NPO & Volunteer Information System

## 最後の コラム NPOグループ認証担当の NPO法人知っ得情報

### 役員の変更と登記について

NPO法人の役員に変更があった場合には、所轄庁に遅滞なく届け出を行う必要があります(NPO法第二十三条)それと同時に、法務局への変更登記も行う必要があります。

注意していただきたいのは、たとえ役員に全く変更が無いとしても、任期が満了した場合は所轄庁への届け出と法務局への登記手続きを行わなければならない点です。「(任期をむかえて一旦退任して改めて再任された」と解されることから「重任」の登記が法務局で必要になります)。

これを怠ると、登記懈怠といって過料(罰金)処分を受けることがあります。また、誰が役員として登記されているかということは、法人に関わる第三者の方にとっても非常に重要なことです。

現在の役員の状況はどうなっていますか? 登記は忘れずに行っていますか?

この時期は、総会を控えておられる法人が多いかと思えます。総会の際にはぜひ確認しましょう!

最後に、このコラムは今月で最終回になります。一年間、若輩者にお付き合いただき本当にありがとうございます。市民活動ボランティアニュースは、まだまだ続きますので変わらぬご愛読をよろしくお願ひいたします。



# ▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。人財ポケットよっかいちの隈元正美さんが紹介してくださったのは、菟野町「おもちゃ診療所」の加藤健一郎さん。おもちゃドクターとして、子どもたちが大切にしているおもちゃの修理を行っています。

## 子どもの笑顔が報酬

……おもちゃ診療所とはどんな活動ですか？

おもちゃ病院の活動には三つの面があって、一つは、子育て支援。子どもたちが大切にしているおもちゃをお父さん、お母さんに代わって直してあげる、ということです。二つ目は、いわゆる団塊の世代が、現役時代に培ったいろいろな技術や技能を埋もれさせずに発揮できる、ボランティア活動の受け皿作り。日本のボランティア活動は福祉関係のボランティアを中心にして発達してきましたので、参加者も女性が多い。もちろん、男性が関われないというわけではありませんが、男性が中心になって関わっているボランティア活動は非常に少ないですよ。三つ目はエコロジーです。おもちゃの修理を通じて、子どもたちに物の大切さを認識してもらいたい。何でも修理して、大事に使えばいつまでも使えることをわかってもらいたいです。

……菟野町おもちゃ診療所の発足のきっかけは？

菟野町社会福祉協議会が開いたおもちゃドクター養成講座です。講師は三重県で一番最初に長島町でおもちゃ病院を始められた丸山さんでした。私自身は講座の2年ほど前、通勤時のラジオで偶然、瀬戸市おもちゃ病院の活動を知り、「面白そうだな」と思っていました。でも、個人で活動を立ち上げるのは非常にエネルギーがいることですから、特に行動を起こさずにいたところ、菟野町社会福祉協議会から「おもちゃ病院をやりませんか」と声がかかりました。マッチングが非常に上手くいったわけです。この講座の参加者を中心に2000年2月に発足し、活動を続けています。

……おもちゃドクターは基本的に工作などが好きだと思いますが、加藤さんは？

勤めていた時は製造技術、いわゆる技術屋でしたので、電子回路などについては、事務系の方よりは多少は詳しいかな。学生の時は趣味でアマチュア無線をしていましたし、卒業してからは趣味でパソコンを使っていました。ハードディスクもフロッピーディスクも一般人には手の届かない時代で、プログラムやデータをカセットテープに保存していました(笑)。

……他のメンバーもやはり、電子回路に詳しいのですか？

おもちゃドクターになるにあたって、何らかの技能、技術を持っている必要はあ

りません。メンバーの中には技術系の方ももちろんおられますが、お仕事は事務系だった方や、以前、保育士をされていて子どもと関わりたいという方など、いろいろな方がいらっしゃいます。年齢も比率的には仕事をリタイアされた方が圧倒的に多いですが、現役世代も結構多いです。高校生以上であれば活動はできます。

……おもちゃの修理と言うと機械系のイメージがあるので、男性が多いのでは？

全国的には女性のドクターもたくさんいます。女性だからできないということはありません。私は以前、ボディーが布でできていて、顔や手足はソフトビニールでできた人形の修理をしました。材質が違う物同士が合わさっていると境目が破れやすいのです。縫い目を丁寧にほどいて、全部分解して。破れた布にアイロンを当ててから、それを型紙にしてボディーを全部作り直しました。ただまあ、電子回路に弱い人が多いので、その辺に強い人が来てくれれば、個人的には心強いです(笑)。

……持ち込まれるおもちゃはどんな種類が多いですか？

修理に持ち込まれる確率が高くなるのは、今流行のおもちゃですから、どうしても半導体回路を持った、音や光の出る動くおもちゃが多いです。ただ、そういったおもちゃの修理部分が電子回路に限定されるわけではないので、修理の比率は電気部分とそれ以外とだいたい半々です。

……なかには直せないものもありますか？

例えばキーボードの音が出ないというケース。まったく音の出ないケースと特定のキーだけ音がでない場合がありますが、後者の場合はまず治りますね。もちろん、100%ではありませんが、音を出す機能は損なわれてないわけですから。全く音が出ない場合、音を外に出す部分、いわゆるスピーカー部分が悪くなっている場合は、これを取り替えれば大丈夫。でも、音を作る回路がダメになっていると、回路はメーカーによって違いますし、一般では入手することができません。それに、回路の中の一つの部品が故障しているとわかって、そのパーツの入手ができないため、修理できません。

……ゲーム類の修理は？

wiiやプレイステーションなどをお持ち込みになる方はいるのですが、修理できる内容が一部に限られます。ゲーム機器は、おもちゃと言うよりパソコン等と同じ。回路や部品がおもちゃ業界とはまったく違いますから、故障している部分が特定できても、直すために必要な部品が入手できません。また、さきほどお話ししたキーボードの例と同じで、基板ごと交換しなくてはいけない場合が多い。基板はメーカーにしかありませんから、直せません。一部の例を除いてお断りしているのが現状ですね。

……部品や工具などはどうしていますか？

最近ではホームセンターなどで、プロも使う材料や工具を置いていますから、20年前に比べればずっと手に入りやすくなりました。菟野町おもちゃ診療所では、自分が慣れた工具でないとやりにくいので、基本的な工具は個人持ちです。電動工具類や特殊な工具については、診療所として購入し



菟野町「おもちゃ診療所」代表

**加藤健一郎**

さんに

聞く

たり、個人が買って来た場合には領収書と交換で代金を負担したりしています。モーターなどは電圧やサイズによっていくつもタイプがありますが、ある程度、想定されるものは揃えるようにしています。

……持ち込まれる量は？

2000年が125件、今はだいたい年間200件ぐらい修理しています。

## 子どもたちにおもちゃを返した時、「ありがとう!」と言ってくれるその顔が見たいから。

……メンバーの数は？

現在、20名ほどです。今度、分割をしようと考えています。

……同じ町内で分割して活動するのですか？

四日市市におもちゃ病院を作りたいのです。菟野町の数倍の人口を抱えている四日市市にニーズがないわけがありません。その種まきとして、2004年から菟野町おもちゃ診療所として2ヶ月に一度、「四日市おもちゃの病院」を開いてきました。おもちゃ病院を立ち上げるなら三人以上はドクターが必要ですから、会のメンバーが増えるのを待っていたのですが、どうにか独立して活動するめどがつかってきたので、来年度から独立して活動する予定です。2ヶ月に一度というのは最低限の回数です。これからどんな条件で活動できるかわかりませんから、これまではこの回数でやってきましたが、独立してから場所や回数などは自由にやってもらうつもりです。

……定期開催をしているのですか？

菟野町では、毎月第二土曜日の2時から4時まで、菟野町健康保険福祉センター「けやき」をお借りして行っています。四日市市では、四日市まんなか子ども劇場という子育て支援団体の事務所を一部お借りして、奇数月の第四土曜日、2時から4時まで開催しています。定期開催にしているのは、利用者にPRが行き届くようにするためです。その他、イベントに参加しておもちゃ病院を開くこともあります。先日、菟野町健康保険福祉センターで行われた「子育て応援ワールド」という子育て支援イベントに参加しました。

……おもちゃはその場で修理するのですか？

基本的には当日受付し、なるべくその日のうちに修理してお返しするようにしています。ただ、開催日に来られないお客さんもいますし、逆に修理が終わるまでその場にいられないという方もいますので、都合の良い時に随時お返しで

難しい修理の時は、メンバーで相談することも。



修理中の加藤さん。

きるよう会場となっている施設にお願いして、窓口をさせていただいています。数が多くて修理しきれなかった場合や、必要な部品などが無い場合は「入院」という形で、持ち帰って修理します。

……修理の様子は子どもたちに見せますか？

始めた頃には、ぜひ見て欲しいという気持ちも強くありました。理科系離れが非常に進んでいますから、修理の様子を観ることで、その楽しさを見てもらいたいと思います。ただ、カッターやハンダごてなどを使いますから、危ない部分もあります。それに、子ども一人で来るというケースは非常に少ないので、お母さんが忙しくてその場にいられないと(笑)。小学生低学年以上の子が来た場合は、なるべく見てもらようようにはしていますが、修理というのは結構、時間がかかる。まず原因を調べなくてはいいませんが、その部分は子どもにとってみれば変化がありませんので、興味を引き付けにくいということもありますね。直る直前。あれこれ試してみて、音が出た!となると、喜びますけどね。

……直ったおもちゃを手渡すだけでも、喜ぶでしょう。

私たちの活動はボランティアですから、報酬は子どもたちの笑顔だけです。なるべく当日、その場でお返ししたいのは、子どもたちにおもちゃを返した時、「ありがとう!」と言ってくれるその顔が見たいから。それが私たちの楽しみです。励みにもなります。でもね、修理を続けているのは、ドクターの自己満足もあります(笑)。一時間も、二時間もあちこちひねくりまわして、直った時の喜びは大きいですね。

……子どもたちとの関わりという点では、確かに子育て支援ですね。

私は他の団体との会合や三重県ボランティア連絡協議会などにも参加していますが、おもちゃ病院は子育て支援だと話しています。四日市市では子育て支援のグループが集まり、ネットワーク会議を行っていますが、私たちも参加しています。それに、おもちゃ病院の活動をマッチングしようと思えば、子育て支援のイベントになります。高齢者をターゲットにしたイベントで開催しても、お孫さんのおもちゃを持ってきてくれるでしょうが、やはりミスマッチですね。

……この活動で得られたものは？

会社人というのは、仕事と関係の無い人とのおつきあいがなかなかできないものです。特に私は技術者でしたから、つきあい方が狭くなってしまいます。そういう意味ではいろんな人とお話し、おつきあいできたこと。子育て支援なんて、おもちゃ病院活動をしていなかったら、つきあいはなかったでしょう。

……他の市民活動に関わることは？

今、おもちゃ診療所以外に、ボランティア連絡協議会、社会福祉協議会の理事、学童クラブ菟野、こもの九条の会で活動しています。これらは全て、子どもに関係することから派生した活動。九条の会も、子どもたちに戦争の無い、平和な日本を残してやりたいという気持ちから活動しています。学童クラブは経理を見ているので、年度末は忙しくて。しかも今は、分割の予定もあるので大変です。なかなか、ゆっくりおもちゃの修理に取りかかれませんが(笑)。

菟野町「おもちゃ診療所」

Tel.059-393-3370

協賛

この市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行  
第三銀行

三重銀行

百五銀行  
FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献  
東海ろうきん

JAバンク  
三重県下JA/JA三重信連

おねがい

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までにお送りください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail center@mienpo.net

転載を希望される場合は必ず男女共同参画・NPO室に連絡してください。

古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。